

# 平成21年8月分電力需給状況

## 需要の概要

平成21年8月の販売電力量は、25億2千8百万kWh時、前年比 88.6%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月から8月中旬までの気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、前年比 87.2%となった。

電灯等の低圧需要の8月分検針期間は、前月(7月)の検針日～当月(8月)の検針日の前日までの1か月間であるため、7月における気温影響の一部は、8月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、8月上中旬の気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、前年比 98.0%となった。

産業用の「大口電力」は、ほぼ全ての業種で前年を下回り、前年比 82.6%となった。

## 需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	845	87.2
	電 力	192	82.9
	計	1,037	86.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	667	98.0
	産業用電力	824	84.9
	うち大口電力	(618)	(82.6)
	計	1,491	90.3
販売電力量 計		2,528	88.6
融 通		271	45.4

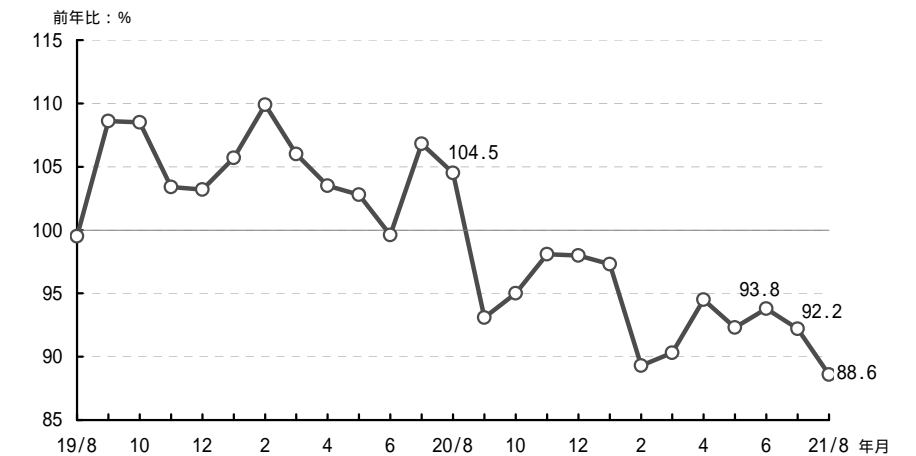
注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

## 大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
業 種	電力量	前年比		
		21/8月	21/7月	21/6月
織 維	26	64.0	65.8	65.2
紙・パルプ	115	72.6	69.2	81.8
化 学	94	80.3	86.9	81.2
鉄 鋼	54	73.6	59.0	81.9
機 械	140	88.7	88.7	91.8
そ の 他	189	93.8	92.3	91.0
合 計	618	82.6	80.7	85.2

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。  
平成21年4月以降の前年比は、前年同月実績を現在の区分に合わせることで算定した。

## (参考1) 販売電力量の前年比の推移



## (参考2) 4県都平均気温

	21/7月				21/8月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	25.3	27.8	26.5	26.5	27.7	28.2	27.0
平年差	0.0	1.3	1.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3
前年差	1.3	0.9	3.2	1.9	1.8	0.8	1.2	0.4

## (参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	( 86.7)	543	( 91.8)	432	( 87.5)	876	( 89.9)	677

注：( )内は前年比

## 供給の概要

- 原子力は、前年並みの 101.1%となった。
- 水力は、前年の渇水の影響などにより、前年比 238.6%となった。
- 火力は、需要の減少、水力の増加などにより、前年比 59.3%となった。

## 供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	( 48)	1,525	101.1	出水率 115.2%  (20年8月出水率 34.6%)
水 力	( 14)	448	238.6	
火 力	( 37)	1,204	59.3	
新エネ	( 1)	18	107.9	
発受電計	(100)	3,195	85.3	
その他		69		
供 給 計		3,126	84.9	

注1：新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2：( )内は構成比